

# 地域の営農実態に合わせ目標地図作成

市川三郷町農業委員会（渡邊千雪会長）は「人・農地プラン」が「地域計画」として法定化されることを踏まえ、町内の営農実態に合わせた最適化活動に取り組んでいる。

## 山梨 市川三郷町農業委員会

打ち合わせの様子（右端が渡邊会長）

## 委員が農家の意向を調査

### 結果基に地域ごと素案策定へ

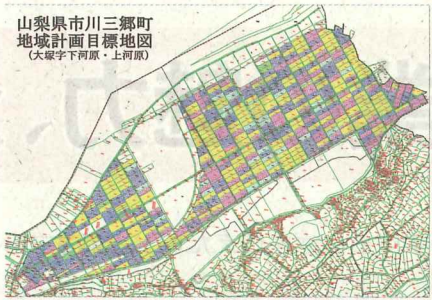


同町は2005年に市川大門町、三珠町、六郷町が合併し誕生。平坦地が多く農業生産が盛んな地域と山間傾斜地で農業依存度が低い地域があり「地域計画」の策

定・公表時期についても営農実態に合わせて設定した。昨年7月には今後取り組む、委員による農地所有者や耕作者の意向調査の実施日程、意向調査を反映した目標地図素案の作成時期、新規就農者の確保対策の実施など、地域ごとの活動スケジュールも設定した。

昨年10月には委員ごとの活動実績を取りまとめることにも意見交換を実施。条件不利地域では最適化活動が限定的となっ

てしまうなどの課題が出された。このため条件不



目標地図

山梨県市川三郷町  
地域計画目標地図  
(大字字下河原・上河原)

利地域の農地所有者に対し、農地の利用意向について聞き取りを強化するなど活動の平準化を図ることとした。

同町の市川大門と三珠の両地域は、特産のトウモロコシ「甘々娘」をはじめとした野菜の栽培が盛んな地域で、規模拡大のため農地の借り入れを希望する農業者が多い。また、新規就農者も昨年から今年にかけて4人が就農していることから、優先的に「地域計

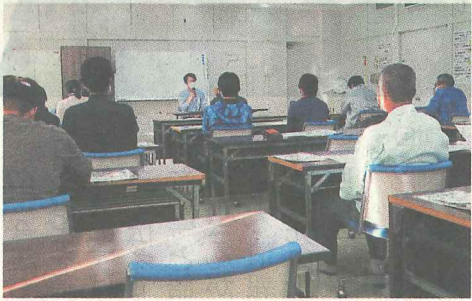
## 新規就農者の確保にも力

### 相談会開き希望者の声に手応え

新規就農者確保対策では、昨年10月に、県農務事務所と共催で同町への就農希望者を対象にした就農研修相談会を開催。就農希望者11人が参加し、すでに同町で就農

た先輩農業者による体験談や町の農業の実情や支援制度について説明。初めての就農研修相談会だったが、参加者から「同町で農業するイメージを描くことができた。今後このような就農研修相談会を開催してほしい」といった声も上がり、次回の開催を準備している。

渡邊会長は「農業委員、推進委員が今まで以上に真摯に取り組んでいる。町民はもちろん、就農希望者からも信頼される。誰からも相談される農業委員会をめざし、町の農業の発展に寄与していきたい」と力強く語った。



地域就農希望者向け  
就農研修相談会